

【管理運営状況公表様式】

平成27青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター（施設通称：アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
情報事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書を選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。また、ホームページを随時更新したほか、Twitter や Facebook 等を活用しながら、最新の情報を発信した。
地域ネットワーク活動支援事業企画運営 (H23 まで「オープンカレッジ参加者数」、H26 まで「地域パートナーセッション参加者数」)	県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、平成27年12月11日に東青地域で「市町村男女共同参画プランを地域づくりに活かす」佐藤恵子氏（元青森県立保健大学教授）を実施するなど地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等を各地域毎に実施した。
情報誌発行事業	男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。特集として「STOP 人口減少！女性のチカラで青森を元気に！」などを取り上げたほか、市町村の情報を掲載し、男女共同参画を身近なものとして感じ取ることができる誌面構成とした。
相談事業	女性が直面している問題を受け止め、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環としてミニ講座「離婚にまつわる法律知識」などを実施した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進のために、子育て支援に関する啓発情報誌を発行した。
活動支援事業	地域における総合的な子育て支援の推進を図るため、県内の地域子育て支援拠点関係者を対象に、子育て支援の基盤づくり・連携の強化に重点を置いた研修、実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣し、団体活動の活性化につなげた。
総合相談事業	子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、解決に向けた支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やDVD等の貸出を行った。また、子育てに生かせるよう、様々な学習・体験活動を開催し、親子のスキンシップを図った。
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、交流とネットワークづくりを推進した。
調査・研究事業	のびのびあおもり子育てプラン推進に資するべく、安心して子育てができるよう、「地域子育て支援拠点関係者研修」などを実施した。

## 2 管理施設の利用状況

### (1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	H22	85,000人	76,678人	90.2%	96.6%
	H23	85,000人	85,708人	100.8%	111.8%
	H24	85,000人	82,804人	97.4%	96.6%
	H25	85,000人	81,978人	96.4%	99.0%
	H26	85,000人	51,729人	60.9%	63.1%
	H27	85,000人	80,404人	94.6%	155.4%
施設使用料収入	H22	6,570,000円	6,196,655円	94.3%	98.4%
	H23	6,570,000円	7,324,600円	111.5%	118.2%
	H24	6,570,000円	6,923,645円	105.4%	94.5%
	H25	6,570,000円	7,234,710円	110.1%	104.5%
	H26	6,888,000円	4,272,445円	62.0%	59.1%
	H27	7,552,000円	6,854,365円	90.8%	160.4%

### (2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
情報ライブラリー貸出件数	H22	14,000件	13,646件	97.5%	103.6%
	H23	14,000件	12,868件	91.9%	94.3%
	H24	14,000件	12,627件	90.2%	98.1%
	H25	14,000件	11,553件	82.5%	91.5%
	H26	14,000件	7,652件	54.7%	66.2%
	H27	12,000件	9,521件	79.3%	124.4%
地域ネットワーク活動支援事業企画運営 (H23まで「オープンカレッジ参加者数」、H26まで「地域パートナーセッション参加者数」)	H22	募集定員の100% (560人)	728人	130.0%	99.7%
	H23	募集定員の100% (662人)	823人	124.3%	113.0%
	H24	募集定員の100% (500人)	600人	120.0%	—
	H25	募集定員の100% (460人)	770人	167.4%	—
	H26	募集定員の100% (230人)	228人	99.1%	—
	H27	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
情報誌読者アンケート満足度	H22	5段階評価の4.0	4.0	100.0%	108.1%
	H23	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	107.5%
	H24	5段階評価の4.1	4.0	97.6%	93.0%
	H25	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	107.5%
	H26	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	97.7%
	H27	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	100.0%

### (3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
情報誌活用度	H22	活かせる・ためになった 95%	活かせる・ためになった 93.5%	98.4%	94.0%
	H23	5段階評価の4.0	4.3	107.5%	—
	H24	5段階評価の4.1	4.4	107.3%	102.3%

	H 2 5	5段階評価の4.1	4.5	109.8%	102.3%
	H 2 6	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	91.1%
	H 2 7	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
手作りおもちゃ講習会参加者	H 2 2	150人	155人	103.3%	144.9%
	H 2 3	150人	131人	87.3%	84.5%
	H 2 4	150人	123人	82.0%	93.9%
	H 2 5	150人	119人	79.3%	96.7%
	H 2 6	150人	151人	100.7%	126.9%
	H 2 7	150人	131人	87.3%	86.8%
親子すくすくスキ ンシップ参加者	H 2 2	親子向け 募集定員の98% (647人)	親子向け 646人	99.8%	51.9%
		指導者向け 募集定員の95% (133人)	指導者向け 136人	102.3%	174.4%
	H 2 3	親子向け 募集定員の100% (400人)	親子向け 422人	105.5%	65.3%
		指導者向け 募集定員の100% (160人)	指導者向け 165人	103.1%	121.3%
	H 2 4	親子向け 募集定員の100% (630人)	親子向け 595人	94.4%	141.0%
		指導者向け 募集定員の100% (230人)	指導者向け 194人	84.3%	117.6%
	H 2 5	親子向け 募集定員の100% (590人)	親子向け 564人	95.6%	94.8%
指導者向け 募集定員の100% (550人)		指導者向け 542人	98.5%	279.4%	
H 2 6	親子向け 募集定員の100% (360人)	親子向け 359人	99.7%	—	
	指導者向け 募集定員の100% (100人)	指導者向け 94人	94.0%	—	
H 2 7	親子向け 募集定員の100% (340人)	親子向け 319人	93.8%	—	
		指導者向け 募集定員の100% (130人)	指導者向け 89人	68.5%	—

子育て広場参加者	H22	300人	306人	102.0%	—
	H23	230人	234人	101.7%	76.5%
	H24	募集定員の100% (200人)	120人	60.0%	51.3%
	H25	募集定員の100% (220人)	102人	46.4%	85%
	H26	募集定員の100% (220人)	143人	65.0%	140.2%
	H27	募集定員の100% (230人)	108人	47.0%	75.5%

**【増減理由】**

・貸館利用者数、施設使用料収入について

平成26年度は、青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター（施設通称：アピオあおもり）において、耐震補強に係る天井落下防止対策工事を実施するに当たり、平成27年11月10日～平成27年3月31日迄イベントホール、平成27年1月4日～平成27年3月31日迄イベントホールを含め全面閉館としたことから、貸館利用者数、施設使用料収入が減少したが、平成27年度は、4月から開館したことから、貸館利用者数、施設使用料収入も通年レベルに回復した。

・地域ネットワーク活動支援事業、情報誌読者アンケート満足度について

県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の男女共同参画の学習会を実施した。情報アンケートについても、例年並みの評価を得た。

・手作りおもちゃ講習会参加者数

手作りおもちゃの実技とともに、子どもと遊ぶときの大人の姿勢等のワンポイントアドバイスを盛り込む実技内容の充実を図り、県内3地区（八戸市、弘前市、むつ市）で実施した結果、成果目標を概ね達成した。

・子育て広場参加者

「子どもの心に届く言葉」をテーマに講演会を開催した、前年度比と比較すると若干参加者は低下したが、今後も講師選定や実施形態の工夫等を行い、参加人数の増加を図りたい。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	4	4	全職員をローテーション勤務とし水準書以上のサービス提供に努め、職員マナーについては日常の注意喚起のほか「ご意見箱」を設置し、利用者の意見・苦情把握に努め、サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われている。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	4	4	館内における催事案内表示はもちろん、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほか携帯サイトやスタッフブログにより、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。 冬期の通学路除雪に取り組むなど、地域住民との交流・連携にも積極的に取り組んでおり、利用促進に向けた取組が適切に行われている。

③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	4	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行った。また、防災マニュアルを改訂し、来館者へ注意事項を示した簡易マニュアルを整備したほか、緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。また、消防訓練も実施している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	4	3	管理業務及び両センターの事業は事業計画書に基づき実施され、指定管理料が適正に執行されている。また、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	4	4	一部達成できなかった指標項目があるものの、ほぼ成果目標達成のための努力が行われている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組を行っているか。	4	4	個人情報保護の重要性を踏まえ定期的に職員研修を実施し、不測の事態が発生した場合には館長等責任者が対応しているほか、(財)日本情報処理開発協会によるプライバシーマークを取得しており、個人情報の保護に対する体制の構築・取組が適切に行われている。
総合評価	4	4	サービスの維持・向上、利用促進に向けた取組みが積極的に行われ、施設、設備の維持管理及び修繕が適切に行われている。 各項目について適切に実施され、総合して優れた実績をあげている。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている。
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。